

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成26年6月26日(2014.6.26)

【公表番号】特表2013-526593(P2013-526593A)

【公表日】平成25年6月24日(2013.6.24)

【年通号数】公開・登録公報2013-033

【出願番号】特願2013-511603(P2013-511603)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/89 (2006.01)

A 6 1 K 8/81 (2006.01)

A 6 1 Q 1/10 (2006.01)

A 6 1 Q 1/06 (2006.01)

A 6 1 Q 1/12 (2006.01)

A 6 1 Q 1/02 (2006.01)

A 6 1 Q 3/02 (2006.01)

A 6 1 Q 5/06 (2006.01)

A 6 1 Q 17/04 (2006.01)

A 6 1 Q 5/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/89

A 6 1 K 8/81

A 6 1 Q 1/10

A 6 1 Q 1/06

A 6 1 Q 1/12

A 6 1 Q 1/02

A 6 1 Q 3/02

A 6 1 Q 5/06

A 6 1 Q 17/04

A 6 1 Q 5/00

【手続補正書】

【提出日】平成26年5月12日(2014.5.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

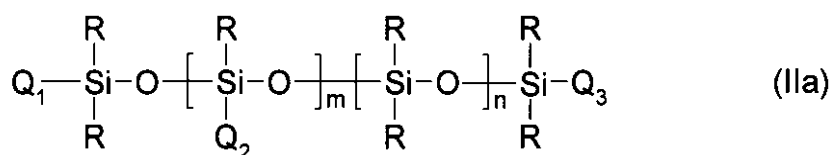
【特許請求の範囲】

【請求項1】

化粧品として許容される媒体中に、

a) 以下の式(IIa):

【化1】



[式中、

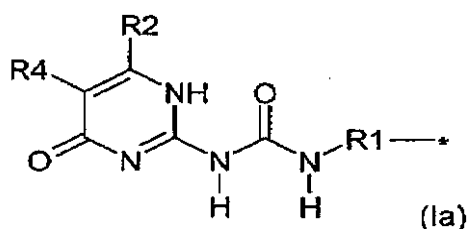
- R基は、同一でも異なってもよく、O、SおよびNから選択される1個または複数の

ヘテロ原子を含有してもよい線状、分枝状および/または環状の、飽和または不飽和の、場合により芳香族の、一価 $C_1 \sim C_{20}$ 炭化水素ベースの(特にアルキル)基を表し、

- Q_1 、 Q_2 および Q_3 基は、同一でも異なってもよく、一価であり、上で定義したR基、または少なくとも3個のH(水素)結合、好ましくは少なくとも4個のH結合、さらに良好には4個のH結合を形成することができる連結基を表し、

連結基 $Q_1 \sim Q_3$ が、少なくとも1個の式(Ia)の一価単位:

【化2】



[式中]

- R_1 および R_3 は、同一でも異なってもよく、(i)線状もしくは分枝状の $C_1 \sim C_{32}$ アルキル基、(ii) $C_4 \sim C_{16}$ シクロアルキル基および(iii) $C_4 \sim C_{16}$ アリール基、またはこれらの基の混合物から選択される二価炭素ベースの基を表し、前記基は、O、N、S、F、SiおよびPから選択される1~8個のヘテロ原子を場合により含み、および/または、エステルもしくはアミド官能基または $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基で場合により置換されており、

- R_2 および R_4 は、互いに独立して、水素原子、またはO、N、S、F、SiおよびPから選択される1個もしくは複数のヘテロ原子を含むことができる線状、分枝状もしくは環状の、飽和もしくは不飽和の、場合により芳香族の、 $C_1 \sim C_{32}$ 炭素ベースの、特に炭化水素ベースの(アルキル)基を表す]を含み、

- n は、2から1000の間の整数であり、

- m は、0から300の間の整数であり、

- c は、1から300の間の整数であり、

m 、 n および c は、官能化ポリシロキサン(IIa)の数平均分子量(M_n)が500から100000の間となるような数である]

のうちの1つに対応する、連結基を有する少なくとも1種のポリシロキサンと、

b)少なくとも1個の反応性官能基により官能化されている少なくとも1種のポリアルケンポリマーと、官能化ポリアルケンポリマーが有している反応性基と反応することができる少なくとも1個の反応性基により官能化されている少なくとも1個の連結基との反応、特に縮合から得ることができ、前記連結基が少なくとも3個のH(水素)結合、好ましくは少なくとも4個のH結合、優先的には4個のH結合を形成することができる、少なくとも1種のポリアルケンベースの超分子ポリマーと

を含み、

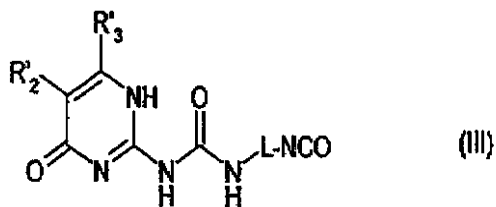
前記官能化ポリアルケンポリマーが、式HX-P-X'H[式中、

- XHおよびX'Hは、反応性官能基であり、XおよびX'は、同一でも異なってもよく、O、S、NH、NCOまたは NR_a から選択され、 R_a は、 $C_1 \sim C_6$ アルキル基を表し、好ましくは、Xおよび/またはX'は、Oを示し、優先的には、XおよびX'は、Oを示し、

- Pは、1種または複数の線状、環状および/または分枝状の、一不飽和または多不飽和の $C_2 \sim C_{10}$ 、好ましくは $C_2 \sim C_4$ アルケンの重合により得ることができるホモポリマーまたはコポリマーを表し、Pは、好ましくは、1種または複数の一不飽和の線状または分枝状の $C_2 \sim C_4$ アルケンの重合により得ることができるホモポリマーまたはコポリマーを表す]のものであり、

前記官能化ポリアルケンポリマーと反応することができる官能化連結基が、式(III):

【化 3】



[式中、

- Lは、単結合、あるいは1～4個のNおよび/またはOヘテロ原子を場合により含む、線状、環状および/または分枝状の、飽和または不飽和の、またはさらには芳香族の二価C₁～C₂₀炭素ベースの(アルキレン)基であり、

- R₂は、単結合、C₁～C₆アルキレンタイプの二価基、あるいは水素原子、または1個もしくは複数のO、SもしくはNなどのヘテロ原子を含有することができる線状、分枝状および/もしくは環状の、飽和もしくは不飽和の、場合により芳香族の、一価C₁～C₃₀炭化水素ベースの基から選択される一価基を表し、

- R₃は、水素原子、あるいは1個または複数のO、SまたはNなどのヘテロ原子を含有することができる線状、分枝状および/または環状の、飽和または不飽和の、場合により芳香族の、一価C₁～C₃₀炭化水素ベースの基を表す]のものである、化粧品組成物。

【請求項 2】

m、nおよびcが、官能化ポリシロキサン(IIa)の数平均分子量が500から100000の間、特に1000から50000の間、またはさらには2000から25000の間、さらに良好には3000から15000の間となるように選択される、請求項1に記載の組成物。

【請求項 3】

a) 式(1a)において、

R1=-イソホロン-、R2=メチルおよびR4=Hであり、または

R1=-(CH₂)₆-、R2=メチルおよびR4=Hであり、または

R1=-(CH₂)₆-、R2=イソプロピルおよびR4=Hであり、または

R1=4,4'-メチレンビスシクロヘキシレン、R2=メチルおよびR4=H

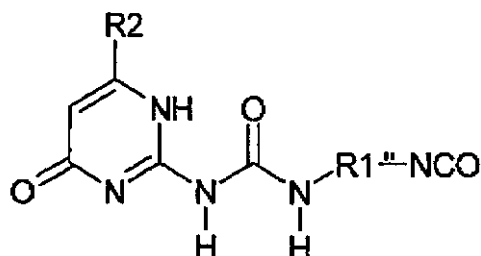
である、

請求項1に記載の組成物。

【請求項 4】

反応性官能基を有する連結基が、式：

【化 4】



[式中

- R1は、-イソホロン-、-(CH₂)₆-、-CH₂CH(CH₃)-CH₂-C(CH₃)₂-CH₂-CH₂-、4,4'-メチレンビスシクロヘキシレンもしくは2-メチル-1,3-フェニレンを表し、および/または

- R2は、H、CH₃、エチル、C₁₃H₂₇、C₇H₁₅、フェニル、イソプロピル、イソブチル、n-ブチル、tert-ブチル、n-プロピル、もしくは-CH(C₂H₅)(C₄H₉)を表す]

のものである、請求項1から3のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 5】

連結基を含むポリシロキサンが、単独でまたは混合物として、組成物の総重量に対して

、0.1重量%～50重量%、好ましくは0.2重量%～40重量%、優先的には0.5重量%～15重量%、またはさらには1重量%～10重量%の比率で存在する、請求項1から4のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項6】

前記官能化ポリアルケンポリマーが、式HX-P-X'H[式中、
XおよびX'は、Oを示し、かつ、
Pが、ポリエチレン、ポリブチレン、ポリブタジエン(1,4-ポリブタジエンまたは1,2-ポリブタジエンなど)、ポリイソプレン、ポリ(1,3-ペンタジエン)、ポリイソブチレンから選択されるポリマー、およびそれらのコポリマー、特にポリ(エチレン/ブチレン)から選択される、請求項1から5のいずれか一項に記載の組成物。

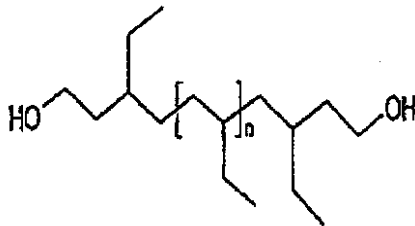
【請求項7】

前記官能化ポリアルケンポリマーが、1000から8000の間、特に1000から5000の間、またはさらには1500から4500の間、さらに良好には2000から4000の間の数平均分子量(Mn)を有する、請求項1から6のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項8】

前記官能化ポリアルケンポリマーが、ジヒドロキシ化水素化1,2-ポリブタジエンホモポリマー、特に以下の式：

【化5】

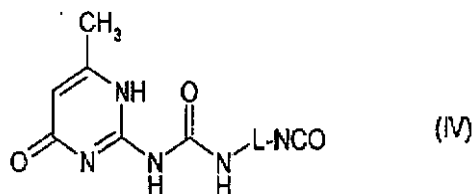


により図式的に表されるものであり、nは、好ましくは14から105の間、より良好には20から85の間である、請求項1から7のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項9】

官能化ポリアルケンポリマーと反応することができる官能化連結基が、式(IV)：

【化6】

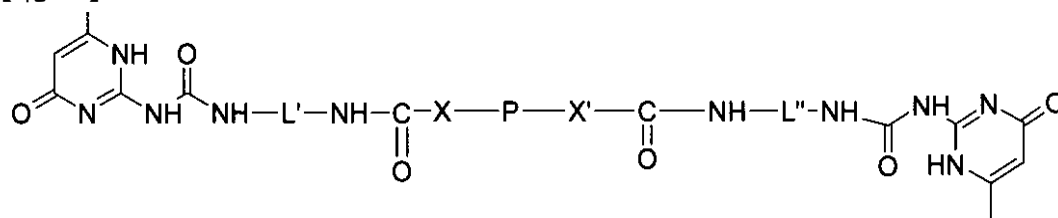


[式中、Lは、単結合、あるいは特に置換基NO₂の形態の1～4個のNおよび/またはOヘテロ原子を場合により含む、線状、環状および/または分枝状の、飽和または不飽和の、またはさらには芳香族の、二価C₁～C₂₀炭素ベースの(アルキレン)基、特にフェニレン、1,4-ニトロフェニル、1,2-エチレン、1,6-ヘキシレン、1,4-ブチレン、1,6-(2,4,4-トリメチルヘキシレン)、1,4-(4-メチルペンチレン)、1,5-(5-メチルヘキシレン)、1,6-(6-メチルヘプチレン)、1,5-(2,2,5-トリメチルヘキシレン)、1,7-(3,7-ジメチルオクチレン)、-イソホロン-、4,4'-メチレンビスシクロヘキシレン、トリレン、2-メチル-1,3-フェニレン、4-メチル-1,3-フェニレンまたは4,4'-ビスフェニレンメチレン基であり、好ましくは、Lは、-イソホロン-、-(CH₂)₂-、-(CH₂)₆-、-CH₂CH(CH₃)-CH₂-C(CH₃)₂-CH₂-CH₂-、4,4'-メチレンビスシクロヘキシレンまたは2-メチル-1,3-フェニレン、より良好にはイソホロンである]のものである、請求項1から8のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項10】

前記超分子ポリマーが、式：

【化 7】



[式中、

- L'およびL''は、互いに独立して、1～4個のNおよび/またはOヘテロ原子を場合により含む、線状、環状および/または分枝状の、飽和または不飽和の、またはさらには芳香族の、二価C₁～C₂₀炭素ベースの(アルキレン)基であり、

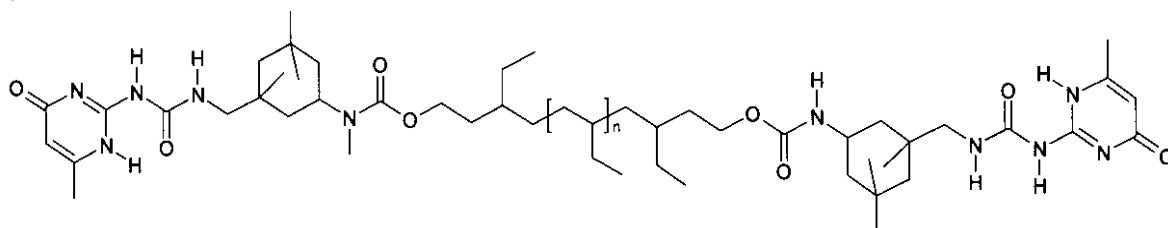
- X=X'=Oであり、

- Pは、1種または複数の線状、環状および/または分枝状の、一不飽和または多不飽和のC₂～C₁₀アルケンの重合により得ることができるホモポリマーまたはコポリマーを表す]に対応する、請求項1から9のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 1 1】

前記超分子ポリマーが、式：

【化 8】



のものであり、nの値が、前記ポリマーの数平均分子量(Mn)が1000から8000の間、特に1000から5000の間、またはさらには1500から4500の間、さらに良好には2000から4000の間となるような数である、請求項1から10のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 1 2】

前記超分子ポリマーが、最終化粧品組成物の重量に対して、0.1重量%から99重量%の間、好ましくは1重量%から80重量%の間、特に2重量%から70重量%の間、またはさらには3重量%から60重量%の間、より良好には4重量%から50重量%の間、優先的には5乾燥物質重量%～40乾燥物質重量%の量で存在する、請求項1から11のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 1 3】

ケラチン物質、特に身体もしくは顔の皮膚、唇、爪、睫毛および/または髪用の美容処置方法であって、請求項1から12のいずれか一項に記載の化粧品組成物の前記物質への塗布を含む方法。